

市税の滞納13億5千万円余に 「小泉不況」の影響深刻——平成17年度決算に見る

景気回復の実感がない

小泉前首相が退陣し、安倍新内閣が発足して1ヶ月半になるうとしています。小泉自公政権の5年余は、大企業や大資産家を優遇する一方、庶民や中小企業にとってはたいへん厳しい時代でした。政府の「景気回復」という論調とは裏腹に、多くの国民にとっては、「景気回復の実感がない」というのが実感ではないでしょうか。「小泉不況」といわれる実態がどうなっているか、上越市の平成17年度決算資料にある「税目別滞納状況」(下表参照)から探ってみました。

市税の5.3%が滞納

市税の滞納総額は、9813人(重複をはずした実数は7351人)で、13億5430万円にもなります。市税の歳入額が256億6千万円ほどですから、5.3%にもなります。この他に、不納欠損額(取りっぱぐれ)が、1億5千万円余もあります。これだけのものが歳入されていけば、住民福祉をもっと充実させることも可能です。不況の影響は

こんなところにも現れています。

倒産の影が見える

税額で大きいのは、固定資産税・都市計画税で、9億5千万円近くになります。1件1千万円を超える滞納が12件もあります。20万円未満が2083件もあります。1件当たり6万円ほどですが、これを払えない状況があるのです。

自己破産も滞納の原因

個人市民税の滞納は、4829人で3億4千万円あまりです。その大部分が20万円未満で、一人3万5千円になります。自己破産など

が多く、これらの人たちは、他の税目でも滞納しているようです。



菱ヶ岳登山口の不動滝
10月25日 安塚区にて

平成17年度の主な税目別滞納状況

	個人市民税		法人市民税		固定資産税 都市計画税	
	人数	税額(千円)	人数	税額(千円)	人数	税額(千円)
20万円未満	4,312	153,908	105	8,715	2,083	126,994
50万円未満	374	77,376	36	10,012	524	152,768
100万円未満	96	45,600	5	3,181	149	101,761
500万円未満	38	43,495	3	6,261	78	155,988
1000万円未満	4	22,390	0	0	11	73,299
1000万円以上	0	0	0	0	12	337,420
合計	4,829	342,768	149	28,170	2,857	948,230

日本共産党上越市議会議員杉本敏宏の

市政レポート

2006年11月5日 123
発行 杉本敏宏事務所
上越市東本町5丁目1番38号
TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832

いやあ、すごい雨でした。

29日夜7時前、昭和町で『しんぶん赤旗』の購読のお願いをしていたところ雷が鳴り、雨がポツポツとあたり始めました。「たいしたことないだろう」と高をくくって、高木の恩師のお宅に向かいました。転倒して骨折したと聞いていたので、お見舞いに行つたのです。玄関に入るときにはもつ、相当の土砂降りに変わっていました。奥様が、「止むまであがつていらつしゃつたら」というのに甘えて、雨宿りさせてもらつたことにしました。しかし一向に止みそつにありません。8時近くになつたので、「我慢も限界」とおいとましたので、外に出てビックリです。車を停めた道路がすでに冠水していたのです。仕方なくジャブジャブと車に飛び込みました。もう昭和町はいたるところで道路が水に浸かっていました。自分の車に乗り換えての帰路、寺町3の川田酒店の辺りもすでに道路は水没状態。飯からの交差点も水浸しで、「止まつて大丈夫かな」と、心配になりました。東本町2の通りでは前を走る軽自動車、20km以下の超ノロノロ運転です。上越大通りの交差点付近は低い所なので、案の定、ブックトピアコスモスにかけて、水中走行の状態、車内に水が上がるなければ良いがと思つほどでした。

高田で局所的集中豪雨

29日午後6時50分～7時50分に91.0mm(過去最大記録更新)

浸水被害状況 18.10.30 18時現在

町内会	住家床上	住家床下	非住家	合計
御殿山町	7	33	12	52
東城町3	1	19	17	37
寺町2	3	18	15	36
南本町2		22	13	35
大貫	3	11	13	27
南本町3		4	18	22
総計	17	249	126	392

豪雨の状況が明らかになつてきました。わずか1時間の間に88.5mm(中央の表)も集中しています。6時50分～7時50分の1時間には91.0mm(下表)も降つていますが、これは平成7年の7.11水害の時の1.7倍です。集中した区域が狭かつたために、広域災害にならなかつたといえます。

1時間降水量(mm)

時刻	降水量
19	6.0
20	88.5
21	14.0
22	8.5

最大1時間降水量(mm)の記録

	降水量	観測年月日
1	91.0	平成18(2006)年10月29日
2	64.1	昭和37(1962)年 9月15日
3	60.5	平成10(1998)年 7月30日
4	53.5	平成 7(1995)年 7月11日
5	52.5	昭和43(1968)年 6月30日

高田測候所の観測データ

とは言つても被害は高田地区の39町内会という広範囲にわたつて発生しています。床上浸水17棟、床下浸水249棟、非住家を含めて392棟というたいへんな被害です。浸水被害が大きかつた町内会を左表に示しました。車庫の浸水も多く、車がダメになつたという被害も多発しています。冷蔵庫や洗濯機がダメになつたというのもあります。今回の水害は、記録的な集中豪雨が短時間に降つたという事情があります。しかし、御殿山などでは、農業用水などがあふれ出して浸水しています。上流で広大な雑木林が開発されて住宅団地に生まれ変わっていますから、保水能力が低下していることも事実です。下流の大瀬川の改修もなかなか進みません。こつたことが、被害を大きくしていないか、行政として、検討する必要があるのではないのでしょうか。